

年 組 名前

色あせぬ豊かな旋律

滝廉太郎の命日に当たる6月29日、ゆかりの地で関連イベントが開かれました。

112回忌 滝廉太郎しのび合唱

不朽の名作「荒城の月」を作曲した滝廉太郎（1879～1903）の命日に当たる29日、ゆかりのある竹田市、日出町、大分市で関連イベントが開かれた。（衛藤秀史、佐藤栄宏、渡辺久典）



「荒城の月」などを披露する滝廉太郎の歌をうたう会のメンバー＝29日、竹田市竹田の滝廉太郎記念館

竹田市

▽112回忌追悼祭 竹田市で少年時代を過ごした滝廉太郎をしのび、市内竹田の滝廉太郎記念館で営まれた。



滝廉太郎ゆかりの曲を元気いっぱいに歌う日出保育園児＝29日、日出町の竜泉寺

日出町

「滝廉太郎を支える地元」の活動があり、文化豊かな現在の竹田があります。とあいなさつ。参加者が献花した。追悼コンサートがあり、



銅像の前で「荒城の月」「花」を合唱（右端は指揮する県立芸術文化短期大学の宮本修特任教授）＝29日、大分市の遊歩公園

「滝廉太郎の歌をうたう会」の努力したい」とあいさつ（後藤誠子代表）の17人が「春の海」「荒城の月」「命をすてて」など6曲を披露。大塚雄一郎さん（30）市内竹田が「納涼」を独唱し、谷フラウエングループの16人は「花」などを披露し、最後は出席者全員で「荒城の月」を歌った。

大分市

▽慰霊祭 大分市は滝廉太郎の終焉の地。市中心部の遊歩公園にある滝廉太郎の銅像前で営まれた。県音楽研究会、滝廉太郎研究会の会長を務める小長久子さん（92）が呼び掛けて毎年開いており、今年は音楽関係者や滝廉太郎の妹スミさんの孫に当たる浅野喜代子さん（86）ら約50人が出席。「荒城の月」「花」を合唱し、偉大な作曲家をしのんだ。

(2014年6月30日朝刊11面)

①滝廉太郎の作った曲名を答えよう。

.....
.....
.....
.....

②竹田市、日出町、大分市はそれぞれ滝廉太郎とどんなゆかりがあるでしょう。

.....
.....
.....
.....

③滝廉太郎の生涯、業績などを調べてみよう。

.....
.....
.....
.....